

令和元年度 商品量目立入検査結果(後期)

期間: 令和元年10月24日から11月27日まで

商品分類	検査 個数	検査結果の内訳				量目不足の主な原因		
		過量	正量	量目不足		風袋量の 無視・軽視	乾燥等の 自然減量	その他
				個数	同率(%)			
食肉類	213	0	206	7	3.3%	6	0	1
魚介類	229	0	229	0	0.0%	0	0	0
野菜	175	0	167	8	4.6%	3	5	0
果実	11	0	8	3	27.3%	3	0	0
調理食品	217	3	211	3	1.4%	3	0	0
茶類	14	0	14	0	0.0%	0	0	0
菓子類	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
精米・精麦	5	0	5	0	0.0%	0	0	0
穀類(豆類及び粉類)	6	0	6	0	0.0%	0	0	0
めん類	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
調味料類	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
その他	食品	0	0	0	0.0%	0	0	0
	非食品	0	0	0	0.0%	0	0	0
非特定商品	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
合計	870	3	846	21	2.4%	15	5	1

(※)特定商品……計量単位により取引されることの多い消費生活関連物資であって、消費者が合理的な選択を行う上で量目の確認が必要と考えられ、かつ、量目公差を課すことが適当と考えられるもの。
(食肉、野菜、魚介類、灯油など29種類)

検査 店舗数	不適正		検査 個数	不適正		不適正事業者の措置		
	店舗数	同率(%)		個数	同率(%)	現場での 口頭注意	文書等に よる指導	勧告 法第15条
35	4	11.4%	870	21	2.4%	3	1	0